

(共同リリース)

2025年3月12日
国立大学法人 鹿児島大学
日本エアコミューター株式会社
日本航空株式会社

地域密着型パイロット人財創出プログラム 第Ⅱ期(5カ年)継続を決定

国立大学法人鹿児島大学(所在地:鹿児島県鹿児島市、学長:佐野 輝、以下「鹿児島大学」)、日本エアコミューター株式会社(所在地:鹿児島県霧島市、代表取締役社長:武井 真剛、以下「JAC」)、日本航空株式会社(所在地:東京都品川区、代表取締役社長:鳥取 三津子、以下「JAL」)は、2020年に締結した連携協力協定^(*)の取り組みである地域密着型パイロット人財創出プログラムについて、2025年度からは第Ⅱ期目(5カ年)として継続することを決定し、2025年3月9日(月)に共同宣言書への署名を行いました。

(*) 2020年10月15日付プレスリリース「鹿児島大学とJALグループは、地域に密着したパイロット人財創出のための連携協力協定を締結します」参照 URL: <https://press.jal.co.jp/ja/release/202010/005799.html>



【第Ⅰ期(2020～2024年度)概要】

- ① 2020年度より5カ年計画(第Ⅰ期目)で実施した本事業は、これまで39名のSKYCAMP生(実践型インターシップ)、4年間で7名のパイロット候補生(現在、養成機関でのライセンス取得訓練中)を輩出しています。また5期からは候補生の訓練先をオーストラリア・アデレードに位置するJALグループの自社養成施設に変更してライセンス取得を目指します。
- ② 本プログラム1期生の2名が、約3年間の基礎課程を経てエアラインパイロットに必要なライセンスを取得し、2月にJACのパイロット訓練生として入社しました。地上業務研修後、約1年間の副操縦士昇格訓練を経て、2026年春頃には副操縦士として乗務を開始する予定です。

三者間の連携協力を通じ、地元の鹿児島で育み、定着する愛郷心のあるパイロットを創出することにより、地域創生の実現に一層寄与してまいります。